

ふね遺産 第1回 応募案件-2

「ふね遺産」(応募様式): 平賀譲文書

2017年12月提出(実行委員推薦) 氏名(個人名または団体の代表者名): 大和裕幸
 所属(個人は住所): 海上・港湾・航空技術研究所
 メールアドレス: yamato-h@umisoraken.com
 その他の連絡先: 0422-41-3000

	内容	備考
1. 対象物・資料の 名称・所属 または所有者	名称: 平賀譲文書 所属: 東京大学 柏図書館	段ボール30個あまりに整理保存。東京大学柏図書館貴重書保管室に所蔵。平賀譲デジタルアーカイブとして東大総合図書館で公開 http://gazo.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/hiraga2/
2. 対象物の 作成・存在時期	第13代東京帝国大学総長・海軍技術中将平賀譲博士(1878-1943)が残された海軍軍艦の図面、技術報告書、写真、東京帝国大学の経営に関する書類、個人の日記書簡など40000点に及ぶ資料。資料自体は、1890年ころから1943年ころまでのもの。	遺族が持っていたもの、横浜国大、防衛庁にあったものなどを東京大学百年事業として東京大学史史料室に集め、その後、柏図書館に保管されている。
3. 現状 (写真添付)	 <p>左は東京大学柏図書館に保存されている状況。右はデジタル化を記念して平賀展を柏図書館でやった時のもの。2008年5月</p>	
4. ふね遺産 認定基準の 該当項目	【認定対象】(3)(4) 【認定基準】(6)(11)(12)(13)	
5. 歴史的・ 工学技術的意義	平賀譲博士は海軍造船官として、日露戦争後の軍艦国産化の指導的役割を果たした。また同時に東大教授として後進の育成にあたり、のちに東大総長として戦争期の技術政策、大学教育システム整備にあたった。軍艦の材料、溶接技術、生産技術などの旧海軍技術資料、東大での講義資料、肅学に関する日記など、技術史、教育史、海軍史上重要な資料である。	デジタルアーカイブとして公開され、技術系ばかりでなく歴史家の利用も多い。造船関連資料として後世に伝えるべき資料。
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	資料 1. 内藤初穂、「軍艦総長 平賀譲」、中公文庫、1999(初版は文芸春秋刊) 2. 東大平賀譲研究会編「平賀譲 - 名軍艦デザイナーの足跡をたどる」、文芸春秋、2008 3. 牧野茂監修「平賀譲遺稿集」、出版共同社、1985 4. 畑野勇、「近代日本の軍産学複合体」、創文社、2005	